鑑定評価書(令和 4年地価調査)

令和 4年 7月 5日提出 杉並(都) 5-13 宅地-1

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	株式会社オークリサーチ
杉並(都) 5 - 13	東京都	区部第8	氏名	不動産鑑定士 樫野 匡彦

鑑定評価額 136,000,000 円 1 ㎡当たりの価格 1,140,000 円/㎡

1 基本的事項

(1)価格時点	令和 4年 7月 11	∃ (4)鑑定評価日	令和 4年 7月 4		[令和 4年1月]	890,000 円/㎡				
(2)実地調査日	令和 4年 6月 301	コー/5)価格の種類	│ │正常価格	路線	路線価又は倍率	倍				
(2)关地响且口	マ和 4 中 6 月 30 日		正市1111代	価	倍率種別					
(3)鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価									

2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

2 🕯	鑑定評価額の決	この埋田の)要旨														
(1) 基	所在及び地番並びに 「住居表示」等 「高円寺南3 - 5 8 - 2 9」										յել (n	也積 ㎡)	(119	法令上の規制等		
準 地	形状	敷地の利用の現 周辺の土地の 況 況			辺の土地のラ	処理抗			供給 処理施 設状況	接近の状況				商業 (80,500) 防火 (その他)			
	1:2	店舗兼住	ŧ		店舗、飲食店 3、「商業地域	 等が建	東5.9 m 区道			水道、 ガス、 下水	高円寺200 m			(100,354)			
(2)	範囲	東 15	m、西	15 m、	15 m、南 30 m、北			60 m 標準的使用			│ 用│中層店舗兼共同住宅地						
近 隣 -	標準的画地の形	状等	間口	約 8	3 m、 奥行	 約	15 m	、	見模	'	120	m²程/	芰、	形状	長方沢	形	
地域	地域的特性	特記 特	記すべき	事項はな	事項はない。 往				交通施設				法令規制	商業 (100,354) 防火			
	地域要因の将 来予測	駅周辺の	プロ										なお、				
(3)最有効使用の判定 中層店舗兼共同				住宅地	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					の個別	準地 的要	ない	١				
, , -	定評価の手法 適用	取引事例				1,170,000 円/㎡			_								
0,	"週用	収益還元	法	収益価		1,03	0,000	円/n									
原価法				積算価		/ 円/m²											
	-1B - 4+10	開発法			による価格						\ \ \ \	4 1 1 L 1 - 1	-z+ -z	高	× 0 +	- > 1-4 - 4	/ * +
・周辺区内にて営業・在住の店舗 業地域の繁華性は相対的に高く、			住の店舗兼に高く、需	こおけるJR・私鉄・地下鉄各駅周辺の 受共同住宅等の取得を目的とする法人の 需要者の積極的な投資行動が見られる- 他のため個別性が強く判断は困難である。					及び個人投資家等である。 −方、供給量が少ないため				JR中央線沿線・商 か需給関係は逼迫して				
· 検	算価格の調整・ 証及び鑑定評価 原の決定の理由	性に富む分の想定	。一方、 建物商用	店舗に 関賃料水	積率等につい 係る適切な1 準として適け 較考量し、な	賃貸事例? 性な値が!	を収集し 見出し業	ノ得たフ 誰く、し	が、 <i>入</i> り 収益価 ^対	居テナン 格はやや	/ト業 P説得	種に	より運営 欠ける。	状況か したか	ヾ異な ヾって	い特に低い 大い特に低い	私層階部 価格を重
(8)	代表標準均	想 標準地	te e	時点	標準化	地域要		別的		基準地		標	街路	0.0	地	街路	0.0
	画 標準地番号 洛 杉並	_	_	修正	補正 	因のと	[安	因の 較		準価格 / m)		準 化	交通 環境	0.0	域要	交通	0.0
小学の		5 - 5										補	^{珉児} 画地	0.0	因	環境 行政	-31.0 -5.0
格し	公示価格	2 2 2 T 1 2		102.5]	100	100	-	[100.0]		80.000	正		行政	0.0	_	その他	0.0
をた	をた 723,000 円/		m	100 [100.0]		[65.6]	·			,		その他		0.0			
(9)	指定基準地都	号		時点 修正	標準化補正	地域野因の比	更 比 要	別的 因の		基準地 準価格		標 準	街路	0.0	地	街路	+2.0
指か 定ら	杉並(都)	5	- 10	1,7	1115	較	〕	較	(円	/ m)		-	交通 環境	0.0	域要	交通 環境	+1.0 -26.0
基の	前年指定基準	ま地の価格	-	104.0]	100	100	[100	01				補	画地	0.0	因	行政	-5.0
準検		5.000 円/	-	104.01	100.01	[72.4]	-		1,14	40,000	:		行政	0.0		その他	0.0
地討		,		100 [100.0]			-			その他				0.0		- 1. 4-46. 1 - 1	
(10) 対年	- 1 対象基準 [±] - 継続 新規	四の検討							まち直し 急し、結	に回れ 果、‡	かつり	P、優艮物 は上昇し、	が件のは 取引点	·給量 比約件	≣が減少し ‡数が減り	ったため 〉した。	
新年標準価格 1,090,000 象標の 1,090,000 - 2 基準地が共通地点(代表標準地等と					t女 番h												
基準	筷∣ である場合の検詰	寸	<1示牛地号	ᅮᄓᆁᅳᄺ	と同一 ^{地点)} 形 状 / 地 域 高円寺パル商店街内の電子 高田寺パル商店街内の電子 高田寺パル商店街内の						の近隣商業地域として熟成しているところ、投資量が少ない。他、地域要因に特段の変動はない。						
準価:	村 代表標準地標準地番号	標準地		成況 要因 需要は旺盛だが供給量が						な							
地位の等	公示価格			円 / m²	m					る個別的要因の変動は特に見られない。							
前か	変動率 年間	+4.6	6 半年		% の	要 医	I /										